

平成 26 年度 公益財団法人粟井英朗環境財団 公募助成申請書

公益財団法人粟井英朗環境財団
代表理事 粟井 晶子 殿

申請日:平成 年 月 日

1. 団体概要

団体の場合は、代表印

ふりがな			
申請団体名	NPO 法人 富士山もりづくり隊		印
ふりがな	だいひょうりじ ふじもり たろう		
代表者名	(役職名) 代表理事	富士森 太郎	
団体所在地	〒○○○-XXXX 山梨県富士吉田市旭 ○○○ TEL ○○○○-XXXX FAX ○○○○-XXXX		
ふりがな	申請作成者または窓口となる人を	ふじた じろう	
担当者名	記入してください。	富士田 次郎	団体所在地と異なる場合は、明記すること。一般的な勤務時間内に連絡の取れる連絡先を記入してください。
担当者連絡先	〒	同上	団体全体の財政状況を記入してください。
	TEL	FAX	
	携帯	E-mail	
団体会員数	50 人	設立年月日	平成 22 年 3 月
団体財政状況	平成 24 年度収支決算		平成 25 年度収支決算<予定>
	総収入	5,000,000 (円)	総収入 6,200,000 (円)
	総支出	5,300,000 (円)	総支出 6,200,000 (円)
	当期損益	- 300,000 (円)	当期損益 0 (円)
団体の主たる活動目的 活動内容	(活動目的) 富士山麓における荒廃した森林環境の復元および保全整備ならびに森林環境保全の普及啓発。		
	(活動内容) ・森林の伐採作業(間伐・部分皆伐)および下草刈りなどの森林整備 ・地域の小学校や一般者などを対象にした環境教育プログラムおよびイベントの実施 ・間伐材を有効活用した製品の開発および販売 ・シカの管理捕獲、生態調査		

簡潔明瞭に記入してください。
多岐にわたる場合、箇条書きなどで書いてください。

2. 事業計画書

活動事業名	持続可能な森づくりモデル事業 ～森林整備事業と間伐材を有効活用した製品の開発～	
事業区分 ○を付けて下さい	① 水資源保全活動 ③ その他の環境保全活動	② 森林環境保全活動 ④ 地域活性化活動

[事業内容詳細] (活動の目的、経緯、意義などを簡潔にまとめてご記入ください。)

(1) 活動が必要な背景
林業の衰退により荒廃した森林の増加が進んでいる。また、植生が単一化したことによる生態系への影響や、樹木の老化による二酸化炭素吸収量の低下などが懸念される。それらの環境問題の現状が広く認識されていない。また、林業や森林整備に従事する人材が足りていないことも課題となっている。

(2) 活動の目的
富士山麓における継続的な森林保全整備および持続可能な森づくりのモデル事業の創出

(3) 活動の内容
①富士山麓○○市●●地区および△△町の■■地区の森林●●haの整備
・伐採、除伐、下草刈りなど
②活動地での環境教育プログラムの実施
内容：林業体験およびツリークライミングや木工教室などの自然体験活動プログラム
対象：当会の環境教育事業を受講している○○市立●●小学校 4 学年～6 学年●●名
△△町立□□小学校 1 学年～3 学年
③一般者を対象とした林業体験森づくりイベントの開催
秋季に他 NPO や林業関係者・関係行政機関と連携して林業・森林整備イベントを実施。一般参加者を対象に実施する。体験事業だけでなく、ジビエ料理やご当地のフードブースなども設置。また、イベントを通じて当会の有償ボランティア会員を集める機会とする。
④間伐材を有効活用した製品の開発
地域もしくはは県内のプロダクトデザイナーと連携して、間伐材による家具・雑貨の制作を行い、県内の商業施設や雑貨屋をはじめ、都内各店舗での販売を目指す。また、材料として活用できない細かい間伐材は地元のペレット製造工場に加工を依頼し、木質ペレットの販売も行う。

(4) 活動の目標
・3ha 内の間伐作業の完了
・計 5 回述べ 150 名への環境教育プログラムの実施
・体験イベントでは、参加者数 100 名以上で実施
・間伐材を使用した製品を 100 名以上に販売する。また、都内施設にて次年度から製品を取り扱ってもらう。

各項目の記述は、わかりやすく簡潔に記入してください。

活動の内容は、何を行うのかわかるように具体的に記入してください。活動が複数になる場合は、箇条書きなどで記入。対象や回数などを明記してください。

目標は、具体的に記入してください。(イベントなどは、目標回数や人数など)

(5) 活動によって期待される成果

- ・森林整備を行うことでこれまで放置された森林〇〇ha の自然環境を改善することができる。
- ・活動地で環境教育を行うことで、次世代を担う子どもたちに自然環境の重要性や地域の現状について理解してもらうことができる。林業を将来目指す職業として興味関心をもってもらえることができる。
- ・体験イベントを実施することで森林の状況や林業を知らない地域住民や一般人に、地域の自然環境や現状について広く知ってもらえることができる。
- ・当活動を通して林業の活性化に取り組むことで、雇用の機会を創出し、地域の活性化につなげる。

活動目標をもとに期待される成果を具体的に記入してください。

当財団からの 助成履歴 (千円)	平成 24 年度		平成 25 年度
	—		800 (千円)
本事業における 他の助成金・補助金などの 資金申請状況	有 無	助成、内定、申請中、申請予定などをご記入ください。 申込団体名：●●●財団 環境基金 今年度 1 月申請予定	申請額 <u>100</u> (千円)

3. 事業スケジュール

事業内容詳細に記載した主な事業計画を記入してください。また、予算計上した経費項目が該当する活動予定は必ず記入ください。
 (例：謝金が発生する活動など)
 実施日が未定であっても、おおよその時期を記入してください

年 月 日	活動内容の詳細
平成 26 年 4 月～10 月	森林整備事業（下草刈り）※各月 2 回の頻度
平成 26 年 6 月〇〇日	森林整備事業（間伐）※6 月～12 月の半年間、原則月一回の定例活動
平成 26 年 6 月〇〇日	環境教育プログラム事業（〇〇市立●●小学校 4 学年対象）
平成 26 年 7 月〇〇日	森林整備事業（間伐）
平成 26 年 8 月〇〇日	森林整備事業（間伐）
平成 26 年 9 月〇〇日	森林整備事業（間伐）
平成 26 年 9 月〇〇日	林業体験森づくりイベントの開催（一般参加、会場：〇〇市●●）
平成 26 年 10 月〇〇日 〇〇日	環境教育プログラム事業（〇〇市立●●小学校 6 学年対象） （▲▲市立〇〇小学校 5 学年対象）
平成 26 年 10 月〇〇日	間伐材を有効活用した製品開発事業 製品制作開始
平成 26 年 11 月〇〇日 〇〇日	環境教育プログラム事業（〇〇市立▲▲小学校 6 学年対象、 ▲▲市立〇〇小学校 4 学年対象）
平成 26 年 12 月〇〇日	環境教育プログラム事業（〇〇市立●●小学校 3 学年対象）
平成 27 年 1 月〇〇日	間伐材を有効活用した製品開発事業 販売開始
平成 27 年 3 月〇〇日	公募助成事業 報告書提出

4. 事業収支予算書

下記支出の部で助成対象経費として計上した合計金額を記入してください

収入	区 分	金 額 (円)	内訳・算出根拠
	1. 助成申請金額	1,000,000	栗井英朗環境財団 助成金
	2. 自己資金	250,000	
	3. 会 費		
	4. 参加費	50,000	森づくり体験イベント参加費 (@500円×100人)
	5. その他	100,000	間伐材製品売上 (@1,000円×100個)
	合 計	1,400,000	(区分1～5の合計額)

算出根拠が明確な金額を記入してください。

謝金の合計額は、全体の20%を超えないこと。謝金の単価は2万円まで。

	区 分	金 額 (円)	内訳・算出根拠
	1. 謝 金	100,000	森づくり体験イベント講師謝金 5名×@20,000円=100,000円
	2. 旅費交通費・ 宿泊費	64,000	林業・森林整備体験イベント講師旅費(実費) 製品開発事業 出張旅費(山梨-新宿) @3,400円(高速バス往復)×10人日
	3. 役務費	470,000	森づくり体験イベントチラシ制作費 100,000円 森づくり体験イベントスタッフ謝礼 70,000円 (10人×7,000円) 間伐材製品制作費 300,000円(別添の見積書参照)
	4. 通信運搬費	6,000	森づくり体験イベントチラシ発送費(@120円×50人)
	5. 借料・損料	30,000	森林整備事業 2t車借料 @6,000円×5回
	6. 消耗品費・備品費・ 材料費	300,000	森林整備事業 機材(鉋×50個=10,000円、 鋸×50個=70,000円、刈払機=@30,000円、チェーン ソー=100,000円)※チェーンソーは@150,000円のう ち、100,000円を助成経費に充当。
	7. 事務管理費	30,000	文具購入費、通信費、コピー、FAX代、 振込手数料など

消耗品費の合計額は、全体の30%以内。単価は10万円以内のもの。購入数が多い場合は、積算書を別添してください

	助成金経費合計 (A)	1,000,000	
	自己資金等充当経費 (B) (助成経費対象外経費)	400,000	森林整備事業 重機レンタル費：100,000 円 森林整備事業 機材購入費：チェーンソー50,000 円 <u>(購入価格から助成金経費として充当した金額の差額分)</u> 森づくり体験イベント広報 WEB ページ作成費 150,000 円
	合 計	1,400,000	(A) + (B)

単価は 10 万円を超えるものは経費対象外。また、10 万円を超える物品を購入する場合、10 万円までの充当は可能です。

その場合、購入価格から充当金額の差額分を自己資金等充当経費に計上してください。

(例：15 万円の物品の購入の場合、10 万円まで経費計上、5 万円を自己資金等充当経費で計上)

その他、自己資金等充当経費に計上する部分については、申請団体の規定に準じます。

公益財団法人粟井英朗環境財団
代表理事 粟井 晶子 殿

【 提出書類チェックリスト 】

団体名	
-----	--

提出書類	チェック欄
①平成 26 年度 公募助成申請書様式 <1. 団体概要 2. 事業計画書 3. 事業スケジュール 4. 事業収支予算書>	✓
②団体の定款または規約等	✓
③役員名簿	✓
④平成 24 年度活動報告書	✓
⑤平成 24 年度収支報告書	✓
⑥団体の活動を説明する資料、パンフレット、写真等	✓
⑦提出物チェックリスト（本紙）	✓